

新得そば 「そばをキーンとして道の活性化を」

新得と言えはそば。そばといえは新得。新得は十勝の北西に位置し、大雪山連峰、十勝岳連峰の南側と日高山脈北端部の東側部分を占めていて北海道の重心の町と言われている。これらの山脈を分水嶺として発生した数多い大小河川はそれぞれサホロ川、十勝川へと流れこんでいる。そばは開拓の鍬が下ろされた明治32年から入植者の主食として馬鈴薯、きび、麦類と共に植えられていた。明治40年9月狩勝線の開通に伴いプラットホームでの立ち食いそばの営業が始まり名物となったが列車の停車時間が短縮されるようになってからは駅舎待合室内のみとなった。

新得産のそばは信州の業者によって加工され、信州そばとなつて北海道に帰ってくると言われているが昭和50年7月にそばの栽培から製粉・製麺工場を持つ「新得物産株式会社」が町と農協との共同出資で生産を開始した。昭和10年頃からは農産物の多様化が進みさらに戦後小麦の生産奨励と政府の価格保障、輸入そばの



影響から市場の変動も加わり著しい作付けの減少をした。その結果良質のそばの原料不足を起こした。市場では良質な新得そばが重宝され高価格で取引される位置にある。平成2年(1990)生産農家羽場由明が第1回そば生産優良経営表彰式において農家の部「農林水産大臣賞」を受賞し平成28年には新得物産が新得町として4度目の大臣賞を受賞し生産増に弾みをつけた。町では9月最終日曜日の「新そばまつり」が毎年開催され1日に町民の3倍以上も集うメインイベントとなっている。平成28年9月に「日本そば博覧会」を誘致したが8月の連続台風の被害で幻となつてしまった。そばをキーンとして十勝そして北海道全体の活性化につながれば幸いである。

日本ハム戦・野球観戦記

東京ドーム・平成29年7月4日(火)(第1戦)

平成29年9月7日(休)(第2戦)

事業部会 大井 忠 夫

今年も恒例の北海道日本ハムファイターズ戦の野球応援を皆様のご協力により実施する



ことが出来ました。7月4日(火)相手は西武、各ふるさと会より135名の日本ハムファンが観戦、1回西武の中村に2ラン、2回にはメヒアにソロホームラン。二刀流大谷の第1打席、糸を引くような弾丸ライナーはセンターの好守備に阻まれ零点。7回大谷

が抑えられ貧打の日ハムを尻目に家路へと帰る寂しげなファンの姿。9回レアドが抑えられゲームセット4対1で敗れる。いつもは美味しいエビスビールが少しほろ苦く感じられた1日でした。9月7日(休)相手は楽天、各ふるさと会より137名の日本ハムファンが観戦。昨年は優勝し日本一になったが、今年はBクラスから抜け出すことが出来ず5位に甘んじている。

しかし観客は3万9千人を超え、今日の勝利を期待して球場に入る。有原投手は2回までは0点に抑えるが3回に崩れ一挙4点を失う、その裏2点を返すが4回に又2失点、5回に2点を返すがその後が続かず、結果は4対6の負け。今年の反省を生かし、来年は大いに奮起し関東の日本ハムファンを楽しませてくれることを期待しましょう。ご協力有難うございました。頑張れ北海道日本ハムファイターズ



ともに明るく明日のために。
Light up your future.

北海道電力は首都圏エリアのお客さまに電気をお届けしております

創立以来60年にわたり、北海道の電気を安定的にお届けしてきた北海道電力は首都圏エリアの特別高圧・高圧のお客さまに電力販売を開始いたしました。少しでも電気料金を削減したいお客さまのパートナーとして、最適なお提案をさせていただきます。お気軽にご相談下さい。お客さまのご紹介もお待ちしております。

■首都圏販売エリア
 栃木県、群馬県、茨城県、埼玉県、東京都、千葉県、神奈川県、山梨県、静岡県
 ※離島は除きます。



所在地 / 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1丁目6番5号 丸の内北口ビル3F
 TEL / 03-3217-0870
 営業時間 / 9時から17時まで (土曜日、日曜日、祝日、年末年始を除きます)

北海道電力
首都圏販売部

ホームページもご参照ください。
<http://www.hepco.co.jp/>

